

YIELDMAT 満期利付債の利回りを求める

イールド・マット
YIELDMAT(受渡日, 満期日, 発行日, 利率, 現在価格, 基準)

▶ 関数の解説

満期利付債を購入し、[満期日] まで保有した場合に得られる収益の利回りを求めます。

▶ 引数の意味

受渡日 …… 債券の受渡日（購入日）を指定します。

満期日 …… 債券の満期日（償還日）を指定します。

発行日 …… 債券の発行日を指定します。

利率 …… 債券の年間の利率を指定します。

現在価格 …… 額面 100 に対する債券の現在価格を指定します。

基準 …… 日数計算に使われる基準日数（月／年）を表わす値を指定します。省略すると、0 を指定したものとみなされます。

- 0 または省略 …… 30日／360日（NASD方式）
- 1 …… 実際の日数／実際の日数
- 2 …… 実際の日数／360日
- 3 …… 実際の日数／365日
- 4 …… 30日／360日（ヨーロッパ方式）

参照 11 NASD方式とヨーロッパ方式の会計方式の違い……P.112

ポイント

- Excel 2003 以前で YIELDMAT 関数を使用するには [分析ツール] アドインをインストールしておく必要があります。参照 11 アドインを利用する……P.66
- 日付を表わす引数や [基準] に小数部分のある数値を指定した場合、小数点以下が切り捨てられた整数とみなされます。
- YIELDMAT 関数は、満期利付債の発行条件と [現在価格] がわかっているとき、その債券を [受渡日] から [満期日] まで保有したときの 1 年間あたりの最終利回りを求めたい場合に使います。

エラーがでたときは

エラーの種類	原因	エラーとなる例
[#NUM!]	[利率] < 0 である	=YIELDMAT(A3,B3,C3,-0.01,E3,F3)
	[現在価格] ≤ 0 である	=YIELDMAT(A3,B3,C3,D3,0,F3)
	[基準] < 0、または 4 < [基準] である	=YIELDMAT(A3,B3,C3,D3,E3,5)
	[満期日] > [受渡日] > [発行日] という条件が満たされていない	=YIELDMAT("2019/9/20","2019/3/20",C3,D3,E3,F3)
[#VALUE!]	[受渡日]、[満期日]、または [発行日] に無効な日付を指定した	=YIELDMAT("2009/9/31",B3,C3,D3,E3,F3)

関数の
基本知識 1日付/
時刻関数 2数学/
三角関数 3

論理関数 4

検索/
行列関数 5データベース
関数 6文字列操作
関数 7

統計関数 8

財務関数 9

エンジニアリング
関数 10

情報関数 11

外部関数 12

キューブ関数 13

付 録